

平成28年度 第1回

福山大学 教養講座

遺伝子オンにして
可能性を伸ばす

5月11日(水) 10:30～11:50

《大学会館ホール》

—講師—

村上和雄先生

筑波大学名誉教授

公益財団法人国際科学振興財団
バイオ研究所所長



【一般の方へ】 聴講を希望される方は公共交通機関をご利用のうえ直接会場にお越しください。

村上和雄博士のプロフィール

1936 年生まれ。

1963 年に京都大学大学院農学研究科農芸化学専攻、博士課程修了。
専門は分子生物学。

科学者として狭い専門のみにとどまることなく、遺伝子、生命、人の幸せなどについて広く発言、執筆し、『生命（いのち）の暗号』『人生の暗号』『生命（いのち）の暗号（2）』『サムシング・グレート』『アホは神の望み』『そうだ! 絶対うまくいく!』『スイッチ・オンの生き方』『遺伝子が語る「命の物語」』『今こそ日本人の出番だ 逆境の時こそ「やる気遺伝子」オンになる!』『幸せの遺伝子』など単著 30 数冊、共著 30 数冊と、多くの著作を発表。

【研究経歴】

- 1963-1968 米国オレゴン医科大学生化学教室研究員
- 1969-1976 米国バンダビルト大学医学部講師・助教授（昇圧酵素レニンの生化学的研究）
- 1976-1999 筑波大学応用生物化学系助教授・教授（遺伝子実験センター、先端学際領域センターにて、レニン・アンジオテンシン系に関する遺伝子工学、蛋白質工学、発生工学的研究）83 年、ハーバード大学、パスツール研究所に先駆けて、高血圧を引き起こす原因となる昇圧酵素ヒト・レニンの遺伝子解読に成功し、世界的な業績として注目を集めた。
- 1999 - 現在 公益財団法人国際科学振興財団バイオ研究所所長（イネ全遺伝子の塩基配列決定に関する研究、心と遺伝子の相互作用に関する研究）

【受賞歴】

- 1982 年 朝日学術奨励賞(朝日新聞社)
- 1990 年 マックスプランク研究賞(ドイツ・フンボルト財団)
- 1993 年 日経 BP 賞(日経 BP 社)
- 1996 年 つくば賞(茨城県科学技術振興財団)
- 1996 年 日本学士院賞(日本学士院)
- 2001 年 岡本国際賞(成人血管病研究振興財団)
- 2011 年 瑞宝中綬章受章